平成23年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年２月４日

上 場 会 社 名　株式会社ミクシィ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2121　　ＵＲＬ　http://mixi.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）笠原　健治
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営推進本部長（氏名）小泉　文明　（TEL）03(5738)5900
四半期報告書提出予定日　平成23年２月10日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第３四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第３四半期	12,445	28.8	2,771	8.2	2,583	2.9	1,236	△1.9
22年３月期第３四半期	9,664	8.4	2,561	△13.1	2,511	△15.2	1,259	△17.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第３四半期	7,994.13	7,957.58
22年３月期第３四半期	8,188.09	8,110.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第３四半期	18,865	15,690	83.1	101,319.01
22年３月期	17,372	14,508	83.5	93,873.94

（参考）自己資本　23年３月期第３四半期　15,681百万円　22年３月期　14,508百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	―	0.00	―	500.00	500.00
23年３月期	―	0.00	―		
23年３月期(予想)				500.00	500.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	17,000	25.0	3,200	16.3	3,020	12.9	1,450	10.7	9,372.50

（注）当四半期における業績予想の修正有無　：有

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.3「２．その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：無
　新規　　－社　　（社名）　　、除外　　－社　　（社名）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：無
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
①　会計基準等の改正に伴う変更　：有
②　①以外の変更　　：無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年３月期３Ｑ	154,770株	22年３月期	154,552株
②　期末自己株式数	23年３月期３Ｑ	－株	22年３月期	－株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年３月期３Ｑ	154,687株	22年３月期３Ｑ	153,870株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
　この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
　本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下さる様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）P.3「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....3
２．その他の情報.....3
(1)　重要な子会社の異動の概要.....3
(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....3
(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....3
３．四半期連結財務諸表.....4
(1)　四半期連結貸借対照表.....4
(2)　四半期連結損益計算書.....5
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....6
(4)　継続企業の前提に関する注記.....7
(5)　セグメント情報.....7
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....8

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期におけるわが国の経済は、依然として厳しい状況が続いておりました。内閣府の１月の月例経済報告では、「景気は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。」とし、景気の持ち直しが期待される一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動など景気を下押しするリスクや、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることに注意が必要であるとしております。

インターネット関連業界におきましては、総務省の平成21年「通信利用動向調査」によりますと、インターネットの利用者は9,408万人に達し、モバイル端末からの利用者は8,010万人と増加しております。また、「2009年（平成21年）日本の広告費」（株式会社電通）によりますと、2009年のインターネット広告費は、景気後退の影響を受けましたが前年比101.2％と引き続き成長を続けております。モバイル広告に関しましても、３Ｇ端末や通信料定額制の普及定着やソーシャルメディアの利用が拡大したことによって、それを活用した企画性の高い広告展開が進んできております。

このような環境のもと、当社ではインターネットメディア事業が順調に推移し、当第３四半期連結累計期間の売上高は12,445百万円（前年同四半期比28.8％増）となりました。また、営業利益は2,771百万円（前年同四半期比8.2％増）、経常利益は2,583百万円（前年同四半期比2.9％増）、四半期純利益は1,236百万円（前年同四半期比1.9％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①インターネットメディア事業

当事業におきましては、ソーシャル・ネットワーキング サービス（以下「SNS」という）「mixi」の12月の月間ログインユーザー数（１ヵ月に１度以上ログインしたユーザー数）は約1,454万人（前連結会計年度末約1,386万人）となりました。「mixi」におきましては、「mixiボイス（つぶやき）」の利用が拡大し、日記と並ぶ主要コミュニケーション機能に成長してまいりました。また、「mixiチェック」などの新たなコミュニケーション機能の提供を開始し、外部サービスとの連携を進めております。利用者が急増しているスマートフォンにおいては、「mixi」の主要機能の最適化を進めることで利便性を高めてまいりました。

収益面では、８月の「mixi」サービスの障害による影響があったものの「mixiモバイル」の広告販売が順調に推移したほか、「mixiアプリ」に関連する広告・課金における収益化が進んできております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は11,900百万円となりました。また、売上高のうち、広告売上高は9,994百万円、課金売上高は1,905百万円となっております。セグメント利益は3,732百万円となりました。

②インターネット求人広告事業

当事業におきましては、IT系求人サイト「Find Job !」において、IT系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ること、及び、自社媒体である「mixi」を活用することによる高い広告宣伝効果と広告宣伝費の抑制により、利益率を確保しながら収益の拡大を目指して参りました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は544百万円、セグメント利益は451百万円となりました。

なお、平成23年４月１日を効力発生日として、インターネット求人広告事業「Find Job !」を分割し、新設する株式会社ミクシィ・リクルートメントに承継させることを決議しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第３四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については流動資産が16,323百万円（前連結会計年度末比1,232百万円増加）となりました。固定資産は2,541百万円（前連結会計年度末比260百万円増加）となりました。主な要因としては、流動資産においては、売掛金の増加、固定資産においては、投資有価証券の取得、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による増加があげられます。

負債については、流動負債が3,156百万円(前連結会計年度末比292百万円増加）となり、主な要因としては、預り金の増加があげられます。固定負債は17百万円(前連結会計年度末比17百万円増加）となりました。純資産は15,690百万円(前連結会計年度末比1,182百万円増加）となり、主な要因としては、利益剰余金が8,215百万円となったことがあげられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は10,318百万円（前年同四半期比612百万円の増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は1,139百万円（前年同四半期は1,193百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2,441百万円となったものの、売上債権の増加、法人税等の支払いがあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は382百万円（前年同四半期は1,913百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入があったものの、投資有価証券の取得、サーバ等の有形固定資産の取得等を行ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は92百万円（前年同四半期は57百万円の獲得）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきまして、売上については、「mixi」サービスの障害が８月に発生した影響があり、当初予想から350百万円減少の17,000百万円（前連結会計年度比25.0%増）を見込んでおります。また、「mixiアプリ」において各アプリの利用者数（ユニークユーザー数）に応じた条件にアプリ提供者へ支払うアドプログラム費を変更したこと等により当初予想から費用が減少したため、営業利益については430百万円増加の3,200百万円（前連結会計年度比16.3%増）を見込んでおり、通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成23年２月４日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

［平成23年３月期通期連結業績予想数値の修正］

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	17,350	2,770	2,760	1,390	8,993.74
今回発表予想（B）	17,000	3,200	3,020	1,450	9,372.50
増減額（B-A）	△350	430	260	60	
増減率（%）	△2.0	15.5	9.4	4.3	
（ご参考）前期実績（平成22年3月期）	13,600	2,752	2,675	1,309	8,502.96

２．その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が10百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が42百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「その他」が40百万円減少しております。当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は17百万円であります。

３．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第３四半期 連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,318	12,163
売掛金	3,719	2,720
その他	296	212
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	16,323	15,090
固定資産		
有形固定資産		
建物	227	171
減価償却累計額	△167	△47
建物（純額）	59	124
工具、器具及び備品	2,257	2,097
減価償却累計額	△1,438	△1,251
工具、器具及び備品（純額）	819	846
有形固定資産合計	879	970
無形固定資産		
その他	269	183
無形固定資産合計	269	183
投資その他の資産		
その他	1,430	1,137
貸倒引当金	△36	△10
投資その他の資産合計	1,393	1,127
固定資産合計	2,541	2,281
資産合計	18,865	17,372
負債の部		
流動負債		
短期借入金	25	53
未払金	824	1,558
未払法人税等	760	332
賞与引当金	61	52
その他	1,485	866
流動負債合計	3,156	2,863
固定負債		
資産除去債務	17	－
固定負債合計	17	－
負債合計	3,174	2,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,757	3,753
資本剰余金	3,727	3,723
利益剰余金	8,215	7,056
株主資本合計	15,700	14,533
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△19	△24
評価・換算差額等合計	△19	△24
新株予約権	9	－
純資産合計	15,690	14,508
負債純資産合計	18,865	17,372

(2)　四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	9,664	12,445
売上原価	2,258	3,031
売上総利益	7,405	9,414
販売費及び一般管理費	4,844	6,643
営業利益	2,561	2,771
営業外収益		
受取利息	17	14
その他	1	2
営業外収益合計	19	16
営業外費用		
支払利息	0	1
持分法による投資損失	32	103
為替差損	2	16
投資事業組合運用損	33	83
営業外費用合計	69	204
経常利益	2,511	2,583
特別利益		
持分変動利益	7	4
特別利益合計	7	4
特別損失		
固定資産除却損	44	16
固定資産臨時償却費	－	98
過年度著作権使用料	47	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	31
特別損失合計	92	146
税金等調整前四半期純利益	2,425	2,441
法人税、住民税及び事業税	1,131	1,348
法人税等調整額	34	△143
法人税等合計	1,165	1,205
少数株主損益調整前四半期純利益	－	1,236
四半期純利益	1,259	1,236

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,425	2,441
減価償却費	348	364
固定資産臨時償却費	－	98
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	31
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	31
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	8
受取利息及び受取配当金	△17	△14
支払利息	0	1
為替差損益（△は益）	0	13
持分法による投資損益（△は益）	32	103
投資事業組合運用損益（△は益）	33	83
持分変動損益（△は益）	△7	△4
固定資産除却損	44	16
売上債権の増減額（△は増加）	△305	△998
未払金の増減額（△は減少）	322	△714
未払消費税等の増減額（△は減少）	△31	76
その他	261	496
小計	3,118	2,036
利息の受取額	13	13
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△1,938	△908
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,193	1,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△3,500
定期預金の払戻による収入	－	4,000
有価証券の償還による収入	1,000	－
有形固定資産の取得による支出	△335	△349
無形固定資産の取得による支出	△105	△141
投資有価証券の取得による支出	△429	△312
貸付けによる支出	△40	△20
貸付金の回収による収入	10	－
その他	△13	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,913	△382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△25
短期借入れによる収入	26	－
株式の発行による収入	30	7
配当金の支払額	－	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	57	△92
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△665	655
現金及び現金同等物の期首残高	10,371	9,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,706	10,318

(4)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)　セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	インターネットメディア事業	インターネット求人広告事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	9,274	390	－	9,664	－	9,664
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	9,274	390	－	9,664	－	9,664
営業利益又は営業損失（△）	3,134	270	△119	3,284	(723)	2,561

（注）１．事業の区分の方法
事業は内部管理上採用している区分によっております。
２．各事業の主なサービス
インターネットメディア事業・・・SNS「mixi」の運営
インターネット求人広告事業・・・IT系求人サイト「Find Job!」の運営
その他事業・・・海外（中国）事業、その他新規事業

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

海外売上高の合計が連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社はインターネット上でウェブサイトの運営事業を中心に事業活動を展開しております。その中で、「インターネットメディア事業」及び「インターネット求人広告事業」の２つを報告セグメントとしております。

「インターネットメディア事業」は、SNS「mixi」の運営を、「インターネット求人広告事業」は、IT系求人サイト「Find Job !」の運営を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	インターネットメディア事業	インターネット求人広告事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,900	544	12,445	0	12,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	11,900	544	12,445	0	12,445
セグメント利益	3,732	451	4,183	△1,412	2,771

（注）１．セグメント利益の調整額△1,412百万円には、全社費用△1,312百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。